

めぶきアセアンレポート

MEBUKI ASEAN REPORT

2023年9月号

CONTENTS

- ◇ 【 バンコク通信 】 ～タイのEV政策と中国系自動車メーカーの動向・・・ P.2～
- ◇ 【 アセアン駐在員コラム 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ P.5
- ◇ 【 アセアン各国ニューストピックス 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P.6
- ◇ 【 アセアン・インド休日情報 】 2023年9月～2023年11月 ・・・・・・・・ P.7
- ◇ 【 めぶきFGアジアネットワーク 】 ・・・・・・・・・・・・・・・・ P.8～

常陽銀行シンガポール
駐在員事務所
10 Collyer Quay, #09-07A,
Ocean Financial
Centre,
Singapore 049315
TEL:65-6225-6543

足利銀行バンコク
駐在員事務所
689, Bhiraj Tower
at EmQuartier,
27th Floor, Room
No. 2714, Sukhumvit
Road, Klongton-nue,
Wattana, Bangkok
10110, Thailand
TEL:66-2-261-2852

常陽銀行ハノイ
駐在員事務所
5th Floor, Sun Red
River,
23 Phan Chu Trinh
Street,
Hoan Kiem District,
Hanoi, Vietnam
TEL:84-24-3218-1668

本レポートの内容につきましては、当行の信頼し得る先からの情報に基づいて作成しておりますが、その正確性、信頼性を保証するものではありません。具体的に法律上、会計上、税務上の助言を必要とされる場合は、それぞれの専門家にご相談くださいますようお願い致します。

足利銀行バンコク駐在員事務所
五津 徳昭

はじめに

日系自動車メーカーは、1960年代からタイ国内に進出・構築したサプライチェーンを活用し、タイの自動車市場において圧倒的なシェアを獲得してきました。しかし、最近ではEVの登場により自動車産業への参入障壁が下がり、タイ政府もEV推進のために振興策や投資恩典を導入し、これに応えるように中国系自動車メーカー（以下、中国系メーカー）がEVを積極的に投入して攻勢を強めています。EV分野の主導権は中国系メーカーが握っており、今後タイの自動車市場でシェア拡大が見込まれます。そこで今回のバンコク通信では、タイのEV政策と中国系メーカーの動向についてレポートします。

タイ政府のEV推進の取り組み

EV振興策

タイ政府は、2030年までに国内で生産される自動車の30%をEVにするという目標を2021年に掲げ、EV普及に乗り出しました。この目標実現のためにEV振興策を導入し、乗用車などを対象とした補助金の支給や輸入関税の引き下げなどによりEVの振興を後押ししています。

【図表1：乗用車におけるEV振興策】

	乗用車（低価格）	乗用車（高価格）
対象車両	小売価格200万バーツ以下 現地生産（予定）車	小売価格200万バーツ超700万バーツ未満 現地生産（予定）車
補助金	出力30kWh未満：7万バーツ 出力30kWh以上：15万バーツ	なし
輸入関税	最大40%引き下げ (適用前：中国車0%、日本車20%、韓国車40%、欧州車80%)	20%引き下げ (適用前：中国車0%、日本車20%、韓国車40%、欧州車80%)
物品税	8%から2%へ引き下げ（2022～2025年）	8%から2%へ引き下げ（2022～2025年）

出所：工業省資料等より作成

上記振興策を申請しEVを輸入した自動車メーカーは、2022年～2023年の輸入台数と同数を2024年にタイ国内で生産するか、2025年に2022年～2023年の輸入台数の1.5倍の台数を生産しなければならない条件が付されています。また、バッテリーなどの主要部品の一部をタイ国内で生産されたものを使用することも条件となっており、条件を満たせない場合、補助金の返還や物品税の2倍に相当する金額の支払いが課されます。

EV推進の背景

実はタイ国内で生産された自動車の約半数が輸出されています。先進国を中心とした輸出先のEV需要に応えるためにも、タイ政府はEVの国内生産を推進しているのです。

現在、タイで生産された自動車はオセアニアなど複数の国に輸出されていますが、輸出先の多くの国では、EVの推進や排ガスを出さないゼロエミッション化に積極的に取り組む方針を示しています。将来タイからこれらの国にガソリン車の輸出ができなくなる可能性も十分考えられることから、タイ政府は輸出先のEV需要に応える体制を構築し、東南アジアにおけるEV生産のハブを目指しています。

中国系メーカーの動向

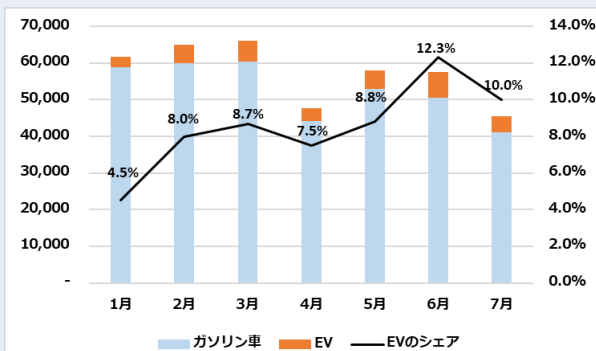
中国系メーカーの動き

中国系メーカーは、タイ政府によるEV振興策や投資恩典の取り組みを活用してタイの自動車市場に積極的にEVを投入し、自動車市場でシェアを拡大しようと動きを強めています。日系メーカーは、自動車市場全体の販売シェアでは80%以上を占めるなど、今はまだ存在感を示していますが、EV分野では中国系メーカーの存在感が非常に高くなっています。

自動車市場におけるEVのシェア

2022年の新車販売台数に占めるEVのシェアは1%程度でしたが、2023年1月～7月は新車販売台数約40万台うちEVの販売台数が約3万台に上り、シェア約8.5%を占めるなど、EVの販売が急速に拡大しています。直近の月別新車販売台数では、EVが10%近くのシェアを占めるようにもなっており、今後もEVのシェア拡大は続くと予想されています。

【図表2：新車販売台数とEVのシェア（2023年）】



出所：運輸省陸運局資料より作成

EVのシェア内訳を見ると、日系メーカーのEV販売台数が100台を切っているのに対し、2022年12月に参入した米国のTeslaは、半年程で5,000台を販売するなどシェアを伸ばしています。しかし、EV販売台数ランキングには中国系メーカーが上位に名を連ねており、比亞迪（BYD）を筆頭とする9つの中国系メーカーがシェア全体の約84%を占めています。

【図表3：上位5メーカーのEV販売台数とのシェア（2023年1～7月）】

No.	メーカー	国	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	1～7月	シェア
1	BYD	中国	1,041	2,070	2,434	1,743	2,025	1,858	1,376	12,547	36.8%
2	NETA	中国	555	1,254	693	564	686	2,203	1,234	7,189	21.1%
3	MG	中国	647	866	896	653	904	781	864	5,611	16.4%
4	Tesla	米国	32	709	1,523	534	1,072	1,225	272	5,367	15.7%
5	GWM	中国	494	282	214	92	430	959	643	3,114	9.1%

出所：運輸省陸運局資料より作成

各メーカーの主要EVの価格

前述のとおり中国系メーカーのEVにおけるシェアが高い理由として、タイ人の若年層や中間所得者層でも手が届く価格帯であることが主な理由としてあげられます。EV振興策による補助金支給や物品税の引下げにより、EVの車両価格が80～110万バーツ（約320～440万円）と他国のメーカーと比較すると安く購入できます。

欧州系メーカーのEVは高級モデルが中心で富裕層が主な購買層となっていますが、日系メーカーのEVは、安価な中国系メーカーのEVと高級モデルの欧州系メーカーのEVとの間に挟まれ、特定の購買層も定まらずに埋没している状況です。

【図表4：各メーカーのEV車両価格】

国	メーカー	モデル	価格 (千バーツ)
中国	GWM	ORA Good Cat	828
	MG	EP Plus	771
		ZS EV	949
	NETA	V	549
BYD	ATTO3	1,100	
日本	TOYOTA	bZ4X	1,836
	Nissan	Leaf	1,990
米国	Tesla	Model Y	1,959
欧州	VOLVO	XC40	2,590
	Mercedes-Benz	EQS	5,786
	BMW	iX3	3,499
iX5		5,999	

出所：各メーカーHPより作成

中国系メーカーのEV輸出とタイ国内でのEV生産

中国系メーカーがタイへのEV輸出を加速する背景には、中国国内のEV生産能力が過剰となっているほか、EVを生産する自動車メーカーが乱立し、競争が激しくなっているということがあげられます。現在9つの中国系メーカーがタイ国内でEVを輸入・販売していますが、2024年にかけて新たに2つの中国系メーカーが加わり、計11のメーカーがタイでEV販売をする計画です。

生産拠点においても、すでにタイ国内で工場の着工や現地法人の設立を発表済みの4社に加え、2023年に入り新たに3社がタイに生産拠点を設立すると発表しました。これで2024年以降に中国系メーカー7社がタイでのEV生産を本格化する予定であり、中国系メーカーのさらなるシェア拡大が予想されます。

EV拡大による自動車部品メーカーへの影響

タイ自動車部品工業会によると、タイには約2,500社の自動車部品メーカーが存在しています。エンジン車からEVへ転換すると、部品点数が約30,000点から約20,000点（エンジン系▲6,900点、駆動系▲2,100点）へ減少し、この減少は部品メーカー約800社に影響し、さらに関連する産業の約200社にも影響が出ると試算されています。2024年以降タイ国内でのEV生産が本格化しEVのシェアがさらに高くなると、日系企業を含めたサプライチェーンにも影響がでることも予想されます。

おわりに

タイの自動車市場では中国系メーカーのEVがシェアを拡大し、日系メーカーに迫る存在感になってきているように感じています。日系メーカーと中国系メーカーでは、戦略の違いなどもあり一概に比較することはできませんが、中国系メーカーがEVの生産を本格稼働させると、自動車市場に大きな変化が生まれる可能性もあり、今後も注視しながら随時情報発信をしていきます。



【シンガポール】 ～陸路でマレーシア・ジョホールバルへ（在星者編）～

前回のコラムの続編として、在星者が行くジョホールバルのおすすめをご紹介します。

定番はマッサージと焼き肉です。シンガポールと比べると半額程度で楽しむ事が出来るので駐在員には大人気です。

家族に人気なのはリゾートとして有名なデサルコーストです。マレー半島の東に位置し、ジョホールバル市内から車で60分、シンガポールからフェリーで90分の距離にあります。リゾートホテルが立ち並び、大きなホテルのプールや目の前のビーチを満喫する事ができます。ゴルフや農園ツアー、ウォーターパークなども楽しむことができ、シンガポールの都会生活に疲れた身体を自然いっぱいのデサルで癒すことができます。

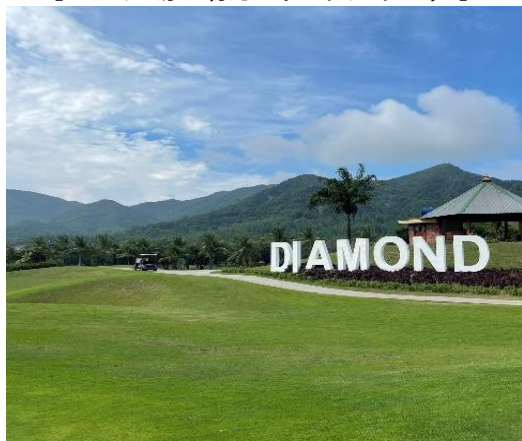
常陽銀行シンガポール駐在員事務所
現地スタッフ 関 順

【アドベンチャーウォーターパーク】



【筆者撮影】

【ゴルフ場の様子（ニャチャン）】



【筆者撮影】



【ベトナム】～ベトナムのゴルフ事情～

ベトナムは、「アジア最高のゴルフ観光先」部門において、2017年から6年連続第1位で選出されています。各地には綺麗なゴルフ場が点在しており、駐在員にとっても人気のスポーツとなっています。

一方で、競技人口・外国人観光客の増加を要因として、プレー代およびキャディチップ代が値上がりしており、1ラウンド2万円を超えるゴルフ場も出てきています。観光総局はこの需要に応えるため、現在約100か所のゴルフ場を2025年までに2倍以上にすることを目指しており、駐在員たちはプレー代が値下がりすることを期待しています。

ESコンサルトレーニー 浅野 功貴

【タイ】～タイのお菓子「カノムクロック」～

カノムクロックはタイでとても人気のあるお菓子で、米粉とココナッツミルクと砂糖を混ぜて作ります。タコ焼き器のような鉄板で片面を焼き、2つ重ねて作る焼き菓子です。味はタイのお菓子にしては珍しく、ほんのり甘く、甘党でなくても美味しくいただけます。カノムクロックにはいろいろなトッピングがあり、青ネギや里芋、コーンなどがあります。また、最近では伝統的な味以外にも、タイティー、チョコレート、紅芋味があり、トッピングにドリアンやマンゴーも登場しています。

レストランでも食べられますが、実際に焼いているところを見ることができる屋台がおすすめで、焼きたてを食べるのが最高です。値段は6つで25～30 バーツ（約100～120円）ほどと手ごろで、タイへお越しの際は是非お召し上がりください。

足利銀行バンコク駐在員事務所
現地スタッフ ディロックタムロンクン・ジラッチャヤー

【カノムクロック】



【筆者撮影】

〈経済関係NEWS〉

シンガポール



- (8/14) 2Q成長率0.5%に引き下げ 通年見通し、上限を下方修正
- (8/18) 7月輸出額20%減、不振続く 中国向け再減速で下げ幅拡大

マレーシア



- (8/4) 23年の経済成長率は4.5%、社会経済予測
- (8/23) 外貨準備高1122億ドル、半月で7億ドル減

タイ



- (8/8) 7月のCPI上昇率0.38%、食品価格が下落
- (8/22) 2QのGDP成長率は1.8%、1Qから減速

インドネシア



- (8/2) 7月消費者物価、3.08%上昇 鈍化続く見込み、天候要因は懸念
- (8/8) 4~6月GDP成長率5.17% 予想上回る伸び、内需回復後押し

フィリピン



- (8/7) 消費者物価、7月4.7%上昇 6カ月連続で鈍化、再び加速も
- (8/11) GDP4.3%増、4~6月 3期連続で鈍化、個人消費弱く

ベトナム



- (8/14) 5~6月の停電による損失は14億ドル、世銀
- (8/14) 23年成長率予測、4.7%に下方修正 = 世銀

〈その他NEWS〉

シンガポール



- (8/4) フィンテック投資が急減速 上期は9億ドル、4年ぶり低水準
- (8/10) 富裕層に食・観光の魅力発信 茨城県、副知事がトップセールス

マレーシア



- (8/1) 22年世帯月収は平均8500リンギ 前年比2.4%増、地域格差大きく
- (8/11) 6月の失業率3.4%、5カ月ぶり改善

タイ



- (8/23) タクシン元首相が首都到着、最高裁に連行
- (8/23) 「セター首相」誕生、新政権発足へ

インドネシア



- (8/8) 7月の外貨準備高、4か月ぶり増加
- (8/18) 45年経済大国入りに意欲、大統領施政方針演説

フィリピン



- (8/16) FDI認可額、4~6月は28%増
- (8/18) 海外からの訪問者、24年770万人に増加も

ベトナム



- (8/16) ビザなし滞在、日本人など45日まで可能に
- (8/22) ドンの対米ドル相場下落続く 8月1.2%、金利差拡大観測で

アセアン・インド休日情報

2023年9月

日	月	火	水	木	金	土
					1 VN	2 VN
3 VN	4 VN	5	6	7 ID	8	9
10	11	12	13	14	15	16 MY
17	18 JP	19	20	21	22	23 JP
24 CD	25	26	27	28 IN ID MY	29	30

2023年10月

日	月	火	水	木	金	土
1	2 ID	3	4	5	6	7
8	9 JP	10	11	12	13 CD TH	14 CD
15 CD	16	17	18	19	20	21
22	23 TH	24 ID	25	26	27	28 MM
29 CD MM	30 MM	31				

2023年11月

日	月	火	水	木	金	土
			1 PH	2 PH	3 JP	4
5	6	7	8	9 CD	10	11
12 SG MY ID	13 SG MY	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23 JP	24	25
26 CD MM CD	27 ID PH MM	28 CD	29	30		

※ナショナルホリデーのみ掲載

出典：ジェトロ各国情報

※祝祭日名省略

JP 日本	MY マレーシア	TH タイ
SG シンガポール	PH フィリピン	VN ベトナム
IN インドネシア	MM ミャンマー	ID インド
CD カンボジア		

めぶき F Gアジアネットワーク（1）

お客様の海外進出をサポートするため、様々な機関や外国銀行と業務提携を結び、支援体制の強化を進めています。

◎業務提携先一覧

提携先	常陽	足利	主な業務内容
中国銀行（中国）	●	●	中国国内情報の提供および各種金融サービスの提供
交通銀行（中国）	●		
中国信託商業銀行（台湾）	●		台湾情報の提供および各種金融サービスの提供
カシコン銀行（タイ）	●	●	タイ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バンコック銀行（タイ）	●		
バンクネガラインドネシア （インドネシア）	●		インドネシア国内情報の提供および各種金融サービスの提供
CIMBニアガ銀行 （インドネシア）		●	
ヴィエティンバンク （ベトナム）	●		ベトナム国内情報の提供および各種金融サービスの提供
ベトコム銀行（ベトナム）	●	●	
ベトナム外国投資庁 （ベトナム）	●		ベトナム関連セミナーの開催協力 ベトナム進出に関する各種支援、投資関連情報の提供
BDOユニバンク （フィリピン）	●		フィリピン国内情報の提供および各種金融サービスの提供
メトロポリタン銀行 （フィリピン）		●	
インドステイト銀行 （インド）	●	●	インド国内情報の提供および各種金融サービスの提供
バナメックス（メキシコ）	●	●	メキシコ国内情報の提供および各種金融サービスの提供
アグアスカリエンテス州政府ほか （メキシコ）	●	●	メキシコに関する現地市場調査 投資情報の提供
日本貿易振興機構（JETRO）	●	●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力機構（JICA）	●	●	途上国での海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
国際協力銀行（JBIC）	●		海外展開支援融資の提供
日本貿易保険（NEXI）	●	●	輸出取引を行う際の海外取引リスクに備える各種貿易保険の提供
中小企業基盤整備機構		●	海外事業展開や各国制度等に関する各種情報提供
東京海上日動火災保険	●	●	海外リスク情報等の提供
損害保険ジャパン	●	●	リスクマネジメントコンサルティングサービスの提供
三井住友海上火災保険	●	●	各種損害保険の提供
セコム	●		海外での安全システム・防犯危機商品の提供
総合警備保障	●		海外セキュリティサービスの提供

めぶき F G アジアネットワーク (2)

◎めぶき F G 海外駐在員事務所

常陽銀行シンガポール駐在員事務所	10 Collyer Quay, # 09-07A, Ocean Financial Centre, Singapore, 049315 TEL:+65-6225-6543
常陽銀行ハノイ駐在員事務所	5th Floor, Sun Red River, 23 Phan Chu Trinh Street, Hoan Kiem District, Hanoi, Vietnam TEL:+84-24-3218-1668
常陽銀行上海駐在員事務所	上海市延安西路2201号 上海国際貿易中心1901室 TEL:+86-21-6209-0258
常陽銀行ニューヨーク駐在員事務所	712 Fifth Avenue, 8th Floor, New York, NY 10019 TEL:+1-347-686-8420
足利銀行香港駐在員事務所	Suite 1601, 16th Floor, Tower 2, The Gateway, Harbour City, Kowloon, Hong Kong TEL:+852-2251-9475
足利銀行バンコク駐在員事務所	689, Bhiraj Tower at EmQuartier, 27th Floor, Room No.2714, Sukhumvit Road, Klongton-nue, Wattana, Bangkok 10110, Thailand TEL:+66-2-261-2852

